



3・燦・SUN ~認め合ひ・話し合ひ・創り出す~

The important thing is not to stop questioning. (Albert Einstein)

高密度の3日間~修学旅行を振り返るvol.3~

☆☆☆人生にハフニングはつきもの☆☆☆

全グループが出発したと思ったのもつかの間、男子が1人ネクタイを落としてチェックアウト/インカウンターに戻ってきました。これは部屋にあったということで解決。引率者もそれぞれの担当地域に向かいます。

自主研修では、広い範囲にグループが散らばりますが、班長が携帯電話を持っているため、緊急時の連絡を取りやすいという一面があります。この日も、「メンバーの体調不良」「行くはずのお店が臨時休業だった」「逆方向の電車に乗ってしまい予定時間に遅れる可能性がある」等々、何件かの連絡がありました。しかし「どうすればいいですか」というノープランの連絡は無く、「このようにしたいのだがそれでいいか」というように、解決策を提示する班ばかりだったのでスムーズにやりとりができました。また、台風による荒天にも当たらず、全員が無事に、ほぼ時間通りにホテルに戻ることができたのでした。

☆☆☆食事のマナー、他人への気遣い☆☆☆

この日2つめの研修は、ホテルでのディナー研修『アット・ザ・テーブル』。フォーマルな場でのマナーを学ぶまたとない機会です。18時の開始を前に、席に着いた皆さんは少々緊張した面持ちで目の前のマットやカトラリーを眺めています。進行の方のアナウンスで講習会はスタートしました。と言っても堅苦しいものではなく、とてもアットホームな空気です。各テーブルを担当するキャストの方にアドバイスをいただいたり、突然現れたミス・ディッシュの歌や説明で笑い、驚きながら、食事のマナーが「同席する人たちに不快な思いをさせず、楽しく食事を進めるため」にあることが分かってきました。

「リハーサル」と呼ばれた講習会のあとは実際にお食事。習ったことを生かして、和やかな雰囲気の中で素晴らしい料理をいただきました。皆さん、なんだか大人になったような落ち着きぶりです。食事の仕方を知るだけで、人は変わるんですね。

☆☆☆ホテルでの最後の夜、楽しもう☆☆☆

食事のあとは各クラス毎に写真撮影を行い、それぞれの部屋に戻ります。今日は就寝時間までたっぷり時間がありますね。素晴らしいホテルでの最後の夜をリラックスして過ごしてください。

外は風雨が強くなってきていました。明日は3日目、天気は大丈夫でしょうか。いよいよ仙台に帰ります。

自分をコントロール! 無言で掃除, 無言で配膳

<無言清掃>が定着してきています。玄関掃除やカリオン塔前掃除を担当する人たちは、無言で、黙々と作業を行っています。もう、そうすることが当たり前のようになっていますね。

スポーツで感じることは、東北大会や全国大会など、大会のレベルが上がれば上がるほど、選手が落ち着いていて余計なおしゃべりが無い、ということです。大事な場面で<無言>を貫けるのは、自分をコントロールできている証拠。スポーツでも勉強でも、最後の最後まで自分をコントロールしきった人が勝利するもの。その訓練は、日々の生活の一瞬一瞬で行われているのです。

まずは<無言清掃>から、続いて<無言配膳>へとつなげていきたいですね。教師がいる・いないに関わらず、<無言>でいるべき時は<無言>でいきましょう。

応援委員会の伝統, 郡山中学校の伝統

今日から応援委員会の朝練習が始まりました。応援の声が響く時期が来るということは、いよいよ中総体が間近に迫っていることでもあります。気持ちが引き締まりますね。

いつの頃からか、我が郡中では、各運動部の主力選手が応援委員となり、全校の応援を引っ張るようになりました。全校応援でとてつもなく大きな声で体育館を振動させるようになったのもその頃からです。

運動部のメンバーであれば、自分の種目の練習が一番時間をかけたい時期でしょう。その時間を全体のために使おう、自分だけでなく郡中一丸となって中総体に臨もうと考えた先輩たちがいて、代々その意思が引き継がれてきました。更に、周りの人たちが「エースのあいつらが先頭に立ってやっているんだから」その気持ちに答えようと全力で声を出すようになり、今に至っています。

今年も、運動部の主力がそろっています。3年間応援委員を務めることになる人もいます。3年生全体で郡中を引っ張り、モチベーションをアップさせましょう。

